

## 令和2年度介護支援専門員実務研修受講試験 受験にあたっての注意事項について

標記試験を受験される方は、試験当日に万全の体調で臨めるよう、感染予防・健康管理に十分注意するとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び受験される方の安全確保のため、以下の点に注意してください。

### 1. 入場時間等について

- (1) 各会場とも、**建物内への入場は午前8時30分から**となります。それまでは入場できませんのでご注意ください。
- (2) 試験に関する注意事項等の説明がありますので、**午前9時40分までには各試験室へ入室し、着席**してください。
- (3) 試験開始30分以降の入室は認めません。

### 2. 受験前の健康状態のチェック

- (1) 試験当日の朝、各自必ず検温を実施したうえで、自身の健康状態を確認してください。その際、発熱、咳、倦怠感等、風邪のような症状がある場合は、受験をお控えください。また、新型コロナウイルス感染症の感染疑いがあり、自宅待機を求められている方については、無症状であっても受験をお控えください。
- (2) 健康状態に問題がないことを確認するため、**別紙1「受験者体調確認シート」をご記入のうえ、試験当日(10月11日)に試験会場で提出**してください。
- (3) 別紙1「受験者体調確認シート」の項目②又は③を満たさない方で受験を希望する場合は、**10月7日(水)17時までに試験事務局(0985-35-2590)に連絡**を入れてください。状況に応じて別室での受験を調整します。  
なお、事前連絡がない場合、会場や事務手続き上、別室受験の調整ができない可能性もありますので、必ず上記期日までに連絡を入れてください。

### 3. 試験会場での検温

- (1) 当日は、各試験会場にて**受験者全員の検温を行います**。検温の流れについては、別紙2「検温について」をご確認ください。混雑が予想されますので、時間には余裕をもってお越しください。
- (2) **検温に時間を要したことによる試験時間の延長は行いません。**

### 4. マスクの着用等

- (1) 試験当日は、感染予防のため、**必ずマスクの着用**をお願いします。
- (2) 試験時間中の本人確認(写真照合)の際には、試験監督員の指示により、マスクを一時的に外していただきます。

## 5. 手洗い・手指消毒の徹底

試験会場に消毒用アルコールを設置しますので、各自、手洗い・消毒を励行してください。

## 6. 試験室の換気

- (1) 試験室は、換気のため、窓やドアを開けます。**室温の高低に対応できるように服装には注意してください。**
- (2) 試験室の窓やドアの開放などにより、外部騒音などの影響が予想されますので、あらかじめご了承ください。

## 7. 当日の持参物品

- (1) 受験票
- (2) **受験者体調確認シート**
- (3) 筆記用具（HB 又は B の鉛筆、プラスチック消しゴム）  
\*解答方法はマークシート方式となりますので、シャープペンシルは使用できません。
- (4) 時計（辞書機能付きは不可。また、携帯電話やスマートフォンを時計代わりに使用することも不可）

## 8. 試験会場における感染予防対策について

試験会場では以下の感染予防策を実行いたします。

- (1) 試験官は試験当日、検温を行い体調に問題ないことを確認の上、勤務いたします。
- (2) 試験官はマスクを着用し、こまめな手洗い・手指のアルコール消毒を行います。
- (3) 試験会場にアルコール消毒液を設置いたします。
- (4) 人の手が触れる箇所を中心に会場施設のアルコール消毒を行います。
- (5) 試験室は1室50名を上限とし、通常の試験より収容数を減らします。
- (6) 会場内の窓開け、ドア開放、換気扇作動などにより換気を行います。

## 9. その他

- (1) 試験当日、試験会場以外の建物には立ち入らないようにしてください。
- (2) 試験会場の建物内では、周りの受験者との適度な距離をとるとともに、会話は最小限としてください。
- (3) 今後、実施方針等に変更が生じた場合には、宮崎県社会福祉協議会のホームページ (<http://www.mkensha.or.jp/>) に掲載してお知らせします。

**試験日の2週間程度前から、3密が発生するような感染リスクの高い場所への出入りを控えるようお願いいたします。**

※受験票と共に、忘れずにご持参ください。

別紙 1

「介護支援専門員実務研修受講試験」  
**受験者体調確認シート**

項目	確認事項
①	試験当日の朝の検温において、発熱（37.5度以上）はない。
②	令和2年9月27日以降に発熱や感冒症状（くしゃみ、鼻水、発熱、倦怠感などの症状を示す急性の呼吸器疾患のこと）はない。
③	令和2年9月27日以降に宮崎県が示す「県をまたぐ移動等」の制限をしている地域へ出向いていない。 ※宮崎県新型コロナウイルス感染症対策特設サイトを御参照ください。

私は受験にあたり、上記確認事項を満たしていることを申し出ます。

また、以下の内容についても同意します。

1. 試験日から2週間後までに新型コロナウイルスの感染者や濃厚接触者となった場合、保健所に試験への参加を必ず報告し、保健所の指示に従ってすみやかに本試験事務局へ連絡する。
2. 試験会場にて新型コロナウイルスの感染者や濃厚接触者となった場合、行政機関等による感染拡大防止のための聞き取り調査に協力する。
3. 本試験の事務局職員や監督員、受験者が、新型コロナウイルスに感染したことが判明した場合、行政機関等による調査のため、受験者情報を行政機関等に提出することに協力する。

令和2年10月11日

受験番号（ \_\_\_\_\_ ） 氏名（ \_\_\_\_\_ ）

※試験事務局確認欄

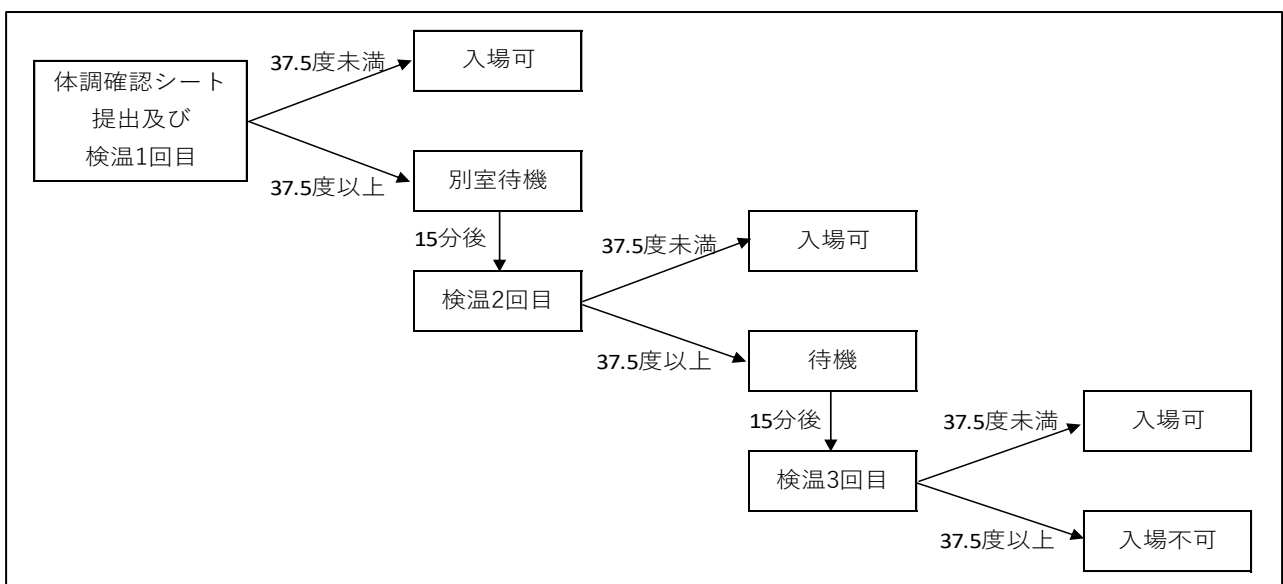
1回目	2回目	3回目

## 検温について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び受験される方の安全確保のため、全ての受験者に対して、非接触体温計による検温を実施しますので、ご理解・ご協力をお願いします。

### 【検温の流れ】

1. 来場の際は、正面玄関からお入りください。
2. 係員に「体調確認シート」を提出し、検温を受けてください。
  - (1) 37.5度未満の方は試験室へ入室できます。
  - (2) 検温の結果、37.5度以上の熱のある方は、別の場所に移動して待機していただきます。
3. 上記2.(2)に該当した方は、最初の検温から15分後に再度検温を行います(2回目)。
  - (1) 37.5度未満の方は試験室へ入室できます。
  - (2) 検温の結果、37.5度以上の熱のある方は、継続して待機していただきます。
4. 上記3.(2)に該当した方は、2回目の検温から15分後に再度検温を行います(3回目)。
  - (1) 37.5度未満の方は試験室へ入室できます。
  - (2) 検温の結果、37.5度以上の熱のある方は、他の受験者への感染の恐れがあるため、受験できません。



注意: 検温後、建物の外に出た場合、再入場時に再度、検温が必要となりますので、お控えください。

